公民館報 こすど
発行所 小須戸町公民館
新潟県小須戸町
編集責任者 矢部義三郎

全町こぞって 新正月実施

連合婦人会長　千葉キヨ

毎年の事でございますが、話しが盛り上つて来ては消え去り、消え去つては盛り上つて来ましたお正月の一本化についてでございます。

私は常にそれを思つておるものでありますが、たま〳〵在の婦人会の方々から是非今年こそは取り上げて頂き、積極的に活動しようではありませんかと云う御相談を受けまして此処に筆を執つたような次第でございます。丁度時期の到来ではないでしようか、いつも上から、やれ〳〵と声を掛けられましても一般の人達が無関心では何事も成し遂げられないものですが、幸いにして下からの声でございますから、期が熟して来たかとも思われます。

家庭の主婦と致しましても、二度ある所を一度にしましたら、心身の労苦はもとより、経済的でありゝ能率的ではないでしようか。最初の切り換えでございますから、それは各家庭には色々と実行しにくい困難もありましようが、たゞお正月は一月だけに致しましようと云う心がまえを全町民の方々に認識して頂いたゞけでも大きな収穫になるのではないでしようか。

一年にできなかつたなら何年がかりでもその軌道にのるまで努力して頂きたいと思います。それには、まず第一に農家の方々の二月正月のもん日の休みを特別の日でないかぎり一日に切り換えたら如何でございましようか。そして二月は普通の月と同じに休みを採つたら良いかと思います。今は昔と違いましてなんでも機械化されておりますから、心がけ次第で一月正月までに一段落するのではないでしようか。

又町部の方々も、二月の集金、支払も繰り上げて、一月にやつたらどうでしようか。新聞、ラジオ、学校、諸官庁と色々と考え合せますと、一月が最も適当のように思われます。ですから、その点をもつと研究なさいましたら、あん外困難と思われることでも、易々と切り換えられるのではないでしようか。

先の了専寺において二

新正月へ 音頭とりは

この前中学校の佐藤先生が公民館報に発表された「早く来い来いお正月」の記事を読んで非常に共鳴した一人です。考えて見ると人工衛星なんてものが成功し、月世界や火星旅行も夢でなくなつた現代に、今更新旧正月の可否を論ずるなどいうことは全くナンセンスだと思いますけれども、しかしそれが旧態依然として残つているのが郷土小須戸町の姿です。教育の面や文化活動の面は何時も県下の最先端を誇つて来ながら何故こうした地みちな生活改善とか新生活運動だけが他町村に後れをとつていくのでしよう。本当に恥ずかしいことだと思います。

聞けば町の教育委員会では学校管理運営の規則というものをつくり、学校の冬休みも新正月だけにきまつたとのことです。考えようによつては今更新旧正月のことですが、これは当り前のことです。しかし根強いこの封建的環境において、思いきつてそこへ踏みきつた当局に対し心から敬意を表したいと思います。ただ気にかかることは、これが裏付けとしての全町の新正月一本化運動に未だ何んの手も打たれていないということです。このままでいくと、学校の子供達だけは新正月で餅を食べないお休み…他の家族は旧正月で餅を食べながらのんびりお休み…という変な形のものになりはしないかと気が気でなりません。

十年来の大年中行事文化祭が終ればもう正月は目の前です。どうでしよう。ここで一つこの問題を解決しようやじありませんか。それにはなんといつても音頭とりが一番大事です。町長さんなら一番結構、或は議長さんでも教育委員長さんでも宜しいですが一つ声を大にして音頭をとつて下さい。それに合わせて踊り出したいとうずうずしているものも沢山あるのですから…。

R・M生

「赤ちゃんの仕つけ方座談会」

市、中蒲原郡婦人指導者講習会の時も第三分科会では、テーマとして掲げまして研究討議致しました。皆様で一生懸命に御努力なされましたなら、きつと暁を見る日も目近いものと、かたく信じております。

こゝに貴重な紙面をおかりしまして心の一端を述べさせて頂きました。皆様の御協力を切望して止まない次第でございます。

なせばなる
なさねばならぬ何事も
ならぬは人の
なさぬなりけり

幼児のしつけ
四才頃のあつかい方

解答　新潟婦人少年室長　増尾栄子先生

質問　満五才と五ケ月の男の子で、大人の生活の中に時間的にあつかわれ、家の中にさわいではいけない、ちらかしてはいけないと、自由にのびのびと遊つて家の中をきらう傾向が見えますが、どのようにしたらよいでしようか。

答　自我の芽ばえ始めた子供は四、五才ころから人に認められたい気持を持ちます。特に母親にみとめられたい気持が強く、この時期を心してあつかわないと性格にゆがみができて生涯とりかえしのつかないことになつてしまう大切な年令です。おそらく、弟ができて自分の存在について不安をもち、自己をみとめてもらいたくて時にはらんぼうをすることもあると思いますが、さわいではいけない、ちらかしてはいけない、やかましいからと叱らずに、子供が自由に遊べる場所を一ケ所あたえて、自由にのびのびと遊はせることです。

子供の以前と比較してよくなつたことを見いだしてほめて自信をもつようにしてやることが大切です。

小さい時は可愛がられたのに下が生れて、やかましい、うるさいと邪魔物あつかいにされ、認められず育つ子供は、成長した時にやゝもすると学校をなまけ休みをしたりする。心のゆがんだ子供に成長することがあります。

「子育ての時」と、よく耳にする言葉ですが、親は身をギセイにして育てゝきましたが、そのギセイが親も子もともどもに成長したものであり、時代におくれないものであり たいと思います。

公民館では幼児を中心として話合のグループ育成に力をそそいでいます。希望者は公民館へ御連絡ください。

長寿長命には まづ健康診断

先に町民の皆様に御面倒戴きました健康診断家族調査表もお蔭様で一部を残す外大部分提出して戴き係の方でそれをもとにした台帳も殆んど完成致しました。明細に記入して戴きましたので大変良い参考になりました。これにより該当者には後日個人通知票をお届け致します。各事業所(職場)で受けられる方以外は全員検診を受けられます様そして自分の健康をしつかりと確めて、より一層明るい御家庭を作り上げられます様お願い致します。今年は会場を三ケ所も多く設け一人でも多く検診を受けられる様準備して居ります。

地域	会場	日時	時間
鎌倉	お宮	十一月十八日	午前九時半より十二時まで
天ヶ沢	青年会場	十一月十八日	午后二時より午后四時まで
矢代田	青年会場	十一月十九日	午前九時より午后三時半まで
横水、小向 水田	横水分館	十一月二十日	〃
新保 竜玄	新保分館	十一月二十一日	〃
町部	公民館	十一月二二、二五、二六	〃

当日は必らず個人通知票をお忘れなくお持ちになつてお出掛け下さい。

尚指定の会場へ都合で出られない場合は他の会場で受けられても結構でございます。

検診の日程は上記の通りであります。

教育委員任命

昨年十月議会の同意を得て町長から任命された教育委員五名のうち、任期一年の海津政吉氏は九月三十日で任期満了となつた。また、さきに亡くなつた武沢秀三郎氏の後任について、九月定例議会の同意を得て海津委員は再び教育委員に任命され、武沢委員の後任として穴沢貞次郎氏(矢代田)がそれ〴〵任命された。

なお十月八日開催の教育委員会で委員長改選の結果海津政吉氏が委員長に再選された。

県文化祭美術展に 堂々入選

中学校では師弟揃つて

秋の美術シーズンを飾る第十二回県文化祭美術展へ当町関係より左記の諸氏が出品し堂々入選の栄をかち得た。

洋画　二点　小田　哲

中、一点は奨励賞

ガラス絵　加藤ヨシイ

書　道　坂井　石平

仝　佐藤　江山

尚小田さんは中学校図工科主任の先生で、既に中央の行動美術展に数回入選、県展にも連続三回の奨励賞を得ているベテランであり、加藤さんは同先生の愛弟子中学校の三年生で今回師弟揃つてのめでたい入選である。

プール建設 研究委員会発足

小、中学校PTAで

学童生徒の水泳の問題は学校、家庭共に悩みの種となつておつたが、夏休み後父兄の一部より「この際思いきつてプール建設へ踏み切つては…」との声もあり、小、中両校PTAでは特別研究委員会をつくり協同して今後この問題につき検討してゆくことになつた。

もちろんあくまで研究の段階であつて、その結果によつては将来本格的建設運動へ発展して行きたいとの考えである。

しかし、もしこれが実現された時には、夏になるたびごとに「信濃川での水泳禁止をどうすればよいか」で頭を痛める苦労も、一応解消され、誠にめでたいことであるのだが……。

小須戸風土記

柏大治

新道の地蔵尊

小須戸の村はずれ鵜出古木と梅の木に通じる路隅に石で彫んだ古ぼけた地蔵尊一基が祭られて何かわけありそうに往来する人の注意をひいていますが、此の地蔵尊に就ては次の様な伝説があります。

文化か天保か時代はわからない。それよりも古い語り草かもしれません。

今は耕地整理も出来、立派な道になつているが当時は鵜出古木の村はずれなどは狐や狸の住かとして雑木や雑草が伸び放題の淋しい場所でありました。

ある日この村はずれに老人六部(行人)がどこからともなく来て人家もない今の地蔵尊の場所へ小屋を立て住む様になりました。この老人はけいるいのない一人者で彼は即身成仏ということを念願にしていて、朝夕ようがねを打つて暮しました。そしてお飯を食べる様子もなくやせおとろえ一日に生米三粒ごま三粒に水を飲んで断食同然に暮していました。

近所の人達も好気心をもつたが老人の人柄についてはこれ以上知ることができませんでした。

なにを話かけても念仏を口に唱え世俗話には一切耳をかそうとはしなかつた此の老人は二ケ月も暮したであろうか、或日小須戸から川根へ用事のため加藤藤八と云う人がすぐ前の松の木に財布と手紙がぶらさがつておりました。手紙を読んで見ると老人の遺言状でした。こうしてひたすら後生にあこがれた老人は成仏の日の近づいたことを知つて自から土中に穴を掘り生きながら成仏したのでした。

遺言状には見つけた人に財布は呉れる。頭の上に地蔵様を立てて呉れと書いてあつたそうです。

其の後まもなく遺言通り加藤藤八に依つて地蔵尊一基が立てられて道行く人の信仰のまととなりました。どうも財布の中味が心配ですが当時の噂では三十両とも百二十五両ともいわれていますが、信疑は別として加藤藤八さんはまもなくお金持ちになり町の有力者の一人になられたことは事実です。

又其の後土中から三年間もしよう鐘の音が聞えると云い伝えられましたが、そのかねの音も何時か消え、明治になり、ばくち打ちが此の地蔵尊の前に殺され埋められたともいわれています。

此の附近、元避病院のあつたあたりには杉行塚、榎行塚などの地名がのこつており、当時民間信仰の行人塚と混合された伝説のようにも思いますが、研究して見なければわかりません。とにかく加藤家子孫が今でも大切に此の地蔵尊を管理してお祭りしております。

× × ×

次回は、矢代田の三蔵坂(完)を掲載いたします。

なぎさにかえて

読者の皆さんから時折編集部へ御投書を頂くがその都度これ程までに館報へ御関心を持つて頂けるのかと思うと本当に頭の下がる気持がする。

もちろん部としては月二回の編集会議で必ずそれについて検討し、できるだけ御意に添うように心がけている次第である。

大部分は良い意味の御注文や御批判やら(例えば、○紙面にうるおいを つけると共に、子供にも愛されるよう懸賞クイズを設けよ。○文のことばが固過ぎるから今少しやわらかいわかり易いものにしてほしい。○小須戸風土記を休載したのはもつての外だ…等々)であるが、時には誤字、脱字、仮名づかいの間違い等、校正上のミスを指摘されることもある。(これは校正部としては誠におはずかしい次第)。記名に本名を用いられている場合はほとんどが善意に満ちた紳士的な御意見であるが、不思議と匿名の場合は必要以上に強い叱責口調である。

しかも滑稽なことにはそうしたものに限つて自らの意見に矛盾があつたりまちがいがあつたりする。最近の一例…九月二日付発行の館報第一面「赤ちやんのしつけ」の見出し「そいね」を「そえね」としてあつたことについて「小須戸一存住者」なる匿名の方からとても激しいお叱りを受けた。もちろんこれに対して校正部としては一言もなくひたすらお詫びするだけである。ただ一つ申し上げたいことは「一存住者」なる方のお葉書はさすがに仮名づかいだけは満点であるが、漢字について誠に疑問(敢えて疑問という)に思われるものが幾つか用いられていることである。

これは一体どうしたことであろうか…。

さて結論ですが、どうぞ皆さん、皆さんの館報をより良くする為にどんどん御意見をお寄せください。そしてできるだけ本名でお願いします。勿論投稿の場合紙上匿名は一向さしつかいありませんが……。(編集部)

十月廿七日～十一月九日 讀書週間

公民館図書室をご利用ください

○期間中貸し出し　毎日午前九時から午后四時まで

第三回 文化祭

縣下柔剣道大会 日本舞踊・民謡・バレー を添えて

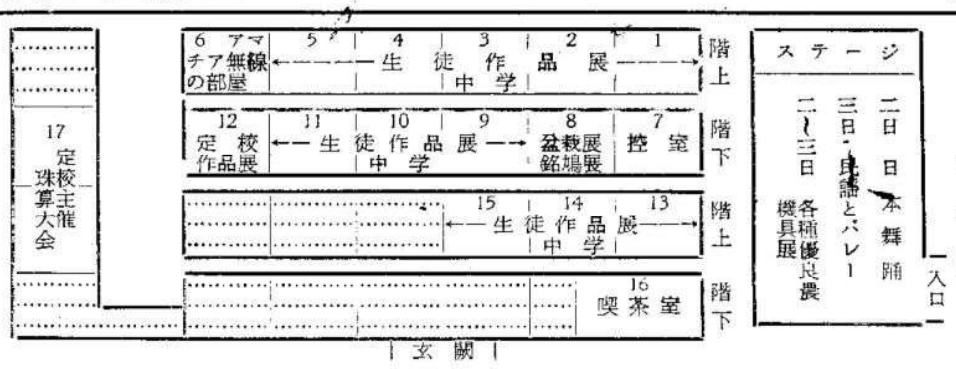
絢爛多彩な文化の催し

豊かな秋のとりいれも済んでほつとひと息すると、深みゆく秋空に冬の前ぶれがすぐそこ迄やつて来たことを感じます。

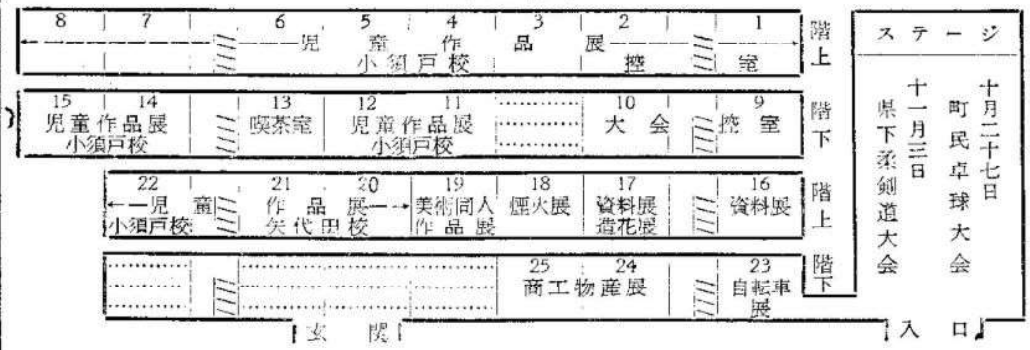
今年も十二回目の文化祭を迎えいろいろ皆様から御研究願いまして、とぼしい予算ではありますが学校始め各種団体の熱心な御協力によりまして、思いのほか見応えのある立派な文化祭にして戴くことになりました。

特に三日の第二会場に於ける県下柔剣道大会は、県内各地からの精鋭が一堂にその技を競うことは蓋し圧巻と思います。また甚句協会の賛助出演の他、バレー、日本舞踊と多彩な行事が繰りひろげられます。児童生徒の熱心な作品を御覧かたがた是非一日会場へ足をお運びの程お待ち致して居ります。

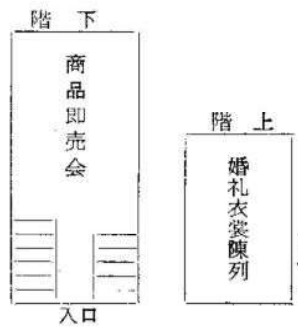
第一会場 中学校



第二会場 小須戸小学校



第三会場 公民館



各種優良農機具展

十一月二～三日
於 第一会場（中学体育館）
小須戸町農機具組合

藝能大会

◇日本舞踊

十一月二日 午前十時より
於 中学校体育館
舞踊 菊づくし、流転 扇かざして、絵日傘 十五夜お月様 他

◇民踊とバレー

十一月三日 午前十時より
於 中学校体育館
民踊 小須戸甚句 小須戸小唄
バレー 朝の行進 お花の小道 小犬のおどり 他
小須戸民謡保存協会
日本舞踊倶楽部
バレー倶楽部

文化祭体育行事

県下柔剣道大会

十一月三日 午前九時
於 小学校体育館
主催 柔剣道クラブ

町民野球大会

職場、少年の部
十一月二～三日
於 中学校グランド
主催 野球協会

町民卓球大会

十月二十七日 午前九時
於 小学校体育館
主催 卓球協会

充実多彩な 中学校の大芸能祭

来る十一月廿一、二の両日中学校ステージで例年の如く大芸能祭が催され、充実多彩な舞台がくりひろげられる。

プログラム（予定）

午前の部
一、混声合唱 三年全員
「ペルシャの市場」他
二、舞踊 1 一年女子 2 二年女子
三、民話劇 三年「三年寝太郎」（一幕三場）木下順二作
上演時間 約一時間半

午後の部
四、器楽合奏 職員全員
五、舞踊 三年女子
六、童話劇「ピノチオ」（三幕八場）
原作 コロデー
脚色 岡田陽
上演時間 約二時間
出演者 百十六名

幼き頃に返って

井上美佐

「あつ、弁当つめてくるの忘れた！」と、私の刈つていく先きで、手にあまるようなかまを持つて、金色に輝くほの間から首だけ出したというかつこうの妹が、突然さけんだ。その顔はいかにも残念そうであつたが、何か楽しそうなことが秘められているようでもあつた。

妹は、「母に弁当取りに行つてもいい？のお」とせがんでいた。しばらくすると母がいいと言つたらしく、跳んだり、はねたりしながら、私の所へ来て「これから弁当取りに行つてくる……それからきのう買つてもらつた菓子も持つてくる、なあ」と晴れ渡つた秋空のような表情で言うのだ。そして「なあねも（おまえにも）弁当つめて来てくれろ？」というのだ。いつもであつたら「いや、そんなことしなくていいよ刈れ」「おれも刈つてくれる」といつて母のあいているかまを借りて来て、一株ずつ刈つてはおき、刈つてはおきしていた。ようやくあぜまでつくと、妹は、束ねるための束をかついで来て、腰をおろす場所をつくつてくれたり、弁当を持つて来てくれたり、実によく気がつくのである。「いつも妹がこんなであつたらなあ」と身軽に、立働く妹を見て、にが笑いせずにはいられなかつた。

妹と並んで、あぜ豆といねにかこまれて、あまり人目に付かない所に腰をおろした。弁当は、切りいかと、みそづけと、なすづけのおかずだつた。小さい時から、母や祖父が仕事に行くのに連れて行かれ、野で遊び、野を友とした私だつたので何よりも広い野原が一番好きであつた。私が小学校へ入学する前、お菓子などあまりなかつた時代だつたので、畑や田んぼへ行く時に、弁当をつめてもらつて行くのだつた。おかずのない時には御飯の上に生みそをぬつていくこともあつた。この忘れがたい味が野を愛するゆえんとなつたのかも知れない。妹は家にいると、まずいというおかずも、うまそうに口に運んだ。

こんな大きな私が、小さな妹と一諸になつて、弁当など食べているのを見た人は笑わずにはいられないだろう。

私は、妹と同じように跳んだり、はねたりしてはしやぎたいのをぐつ！とこらえて、弁当箱の切いかを、あさつた。赤と腰んぼも寒いので、二、三低く飛んでいるだけであつた。

百キロメートル（直江津～小須戸間）鳩レース

時 十一月二日 雨天順延
審査所 小須戸郵便局前
銘鳩展示会～第一会場（中学）
参加鳩歓迎～鳩友会事務所 タケヤ洋服店宅
主催 小須戸鳩友会

さあしつかり考えてください 懸賞クイズ

（第2回）

問題

大川の水面が氷で覆われ三日月の出た橋の上を通る工場勤めの三人連れに続き、竹杖をついた老人もらんかん伝いに首を縮めて歩き疲れの足を引きづつて行く。

◎右の文を全部正しいひらがなになおしてください。

▲あて先…小須戸公民館内クイズ係
▲用紙…郵便はがき
▲〆切…十一月五日
▲正解者が多いときはくじ引きで十名の方へ賞品をさし上げます。

× × ×

◎前回の正解文

「ゆうがたになつて、いえへかえるとき人どおりのおおい方へ行くのじやとおもいます。」

「やがとおるでしようから。」

「じかんがないから、そんな所へ行くはずがないとおもいます。」

応募者三七名の中左記六名が正解、賞品を差し上げました。

三ノ町 島倉美津子
桜木町 佐藤浩治
横町 松沢妙子
仝 佐藤悠
仝 松沢恵栄咲
出雲町 室星法子

靖国神社奉賛会 募金について

新憲法下靖国神社の国費支出は、種々困難なため実現されず、大東亜戦争戦歿英霊約百九十八万余柱の靖国神社合祀及同祭神の御遺族個々への通知状参拝遺族の接遇及戦災類焼荒廃の神域を復旧しもつて永世に亘り、殉国の忠霊を奉斎するに適わしき「国民の神社」としての基礎を確立するため「靖国神社奉賛会」では、全国に亘り浄財を仰ぐことになりました。

国民運動として、奉賛会は、各県各市町村及在外同胞に本部、支部が結成され、本県は十一月に募金が実施されます。

御祭神社総てが吾人の肉親知己郷友同胞たりし方々であり、我々挙つて、奉賛護持の実をあげていたゞきたいと存じます。

当町については

一、目標額十一万三千円（一口五十円の取扱で応募者は会員となる。）

名月句会

小須戸町俳句同好会

蒲萄の色見ゆるが如く月明り　ひさ
あきらめし空もはれたり月見哉　水月
今一度見返る月の門に入る　杏水
応答は一言で足り爽やかに　山葵
月光をまともに浴びて墓の列　冬川
月明や駅へ伸びゆく街明り　虚秋
名月や熱れ田仄かに区切りたる　紫川
明月や農道稲架も出来上り　香月
シネマ出てペタルゆつくり星月夜　越桜
蜘蛛の巣のかけつゝありし窓の月　溪灯
刈り納む鎌かくしたり月の稲架　石秋
月天心門田穂稲のさやぎおり　向日葵
月照るや一万町民寝伏したり　流水

モーツアルト 三大交響曲の夕べ

交響曲 第3441番 ハ長調「ジユピター」
第9番 ト短調
第3番 変ホ長調

Hi-Fi 装置使用

日時 11月10日 午後7時より
会場 小須戸町公民館 二階

十月購入図書

◇文化とはなにか　福田恒存
◇津の国屋小染 下巻　井上友一郎
◇三色娘　中野実
◇十三角関係　山田風太郎
◇航海記　海上の友編集部
◇私たちのおかず（一）　江上トミ
◇ジャンクリストフ（三）　ロマン・ローラン
◇キネマ旬報秋の特別号
◇相撲　別冊　秋場所総決算号
◇婦人朝日　十一月号
◇文春芸秋　特集
◇文芸春秋　十一月号
◇野球界　緊急増刊号
◇それからの武蔵（一）（二）　小山勝清
◇十二人のセールスマン　BCフォーブス
◇第三の目　ロブサン・ランパ
◇嫉妬　吉屋信子
◇時は夢なり　尾崎士郎
◇6才までの性格形成　米山正信
◇長生きの国を行く　杉清三郎

御礼と御願い

私事九月廿五日午后二時頃白根県道にてモーターを積んだまゝ、自転車と共に倒れ、右足に負傷困りおる所を、御助け何かと御世話下され有難く御礼申上げます。その時痛さの余り御芳名聞き漏らし、誠に失礼をいたしました。此の紙を通じて又は他の方法にて御住所御氏名御知らせ下されば甚だ幸いであります。

大字水田　高井正松